

夏期講習会・お盆特訓・8月分授業の効果の上がる方法とは

開倫塾

塾長 林明夫

1. (1) 高校野球栃木県大会は国学院栃木高校の優勝、宇都宮南高校の準優勝で終わりました。
(2) 両校とも素晴らしいプレイを展開、手に汗握るプレイの連続でした。
(3) 37年ぶりに甲子園出場を果たす国学院栃木高校、最後まで甲子園を目指し戦った宇都宮南高校の健闘をたたえたく思います。
2. (1) 今日は、夏期講習会・お盆特訓・8月分授業の効果の上がる方法をお話します。
(2) コロナ禍の中、折角夏期講習会・お盆特訓・8月分授業に参加するのであれば、学力をしっかりと上げていただきたく思うからです。
(3) 一番大切なのは「自覚をもって学ぶ」こと、特に受験生は「受験生としての自覚をもって学ぶ」ことです。
3. (1) 「自分は、この冬、私立中学校受験・公立中高一貫校受験・高校受験・大学受験をする、受験生であることを『自覚』する」。
(2) これが一番大切です。「自覚なくして教育の成果なし」「受験生としての自覚なくして合格なし」と考える。
(3) 「自覚」をもって夏期講習会・お盆特訓・8月分授業にご参加ください。
4. (1) 大切なことの第2は、授業前の「予習」、授業後の「復習」、「定着」をきちんと行うことです。
(2) 授業前にテキストをよく読み、問題をノートに解く。よくわからない語句があれば、辞書や参考書で必ず調べ、意味調べノートやカードに書き写し、その場で覚える。
(3) よく書けなそうな語句があれば、書き取り練習をする。予習をしていて、よくわからない内容や問題があれば、印をつけておき、授業中にしっかり先生のお話を聴く。それでもわからなければ、質問する。「予習」とは「よくわからないことをはっきりさせてから授業に臨むために行うもの」です。この「予習の意味」は、学校の普段の授業でも、開倫塾の夏期講習会・お盆特訓・8月分授業でも、全く変わりません。
5. (1) 授業中は、しっかり先生のお話を聴く、必要なことはすべてメモする、ノートを取る。
(2) 授業終了後は、必ず復習。もう一度、全教科のテキストを「声を出して」よく読み、問題はすべて解く。よくわからない語句があれば、辞書や参考書で調べる。それでもわからなければ、必ず先生に質問する。

(3)「理解を深める」ことが「復習」の目的です。

6. しっかり「復習」した後は、「音読練習」「書き取り練習」「計算・問題練習」、つまり、「定着のための3大練習」をして、「すべて身に着ける・定着させる」。これが「夏期講習会・お盆特訓・8月分授業の効果の上がる参加の方法」です。参考にしてくださいね。